

# パネル・トラスの供給に強み LID工法で在来市場を開拓

## ランバーテック



LID工法の施工例。在来工法の躯体に乘せるだけで合理化できる

きる。ことか  
ら、コロナ禍  
でもパネルは  
フル生産を続  
けている。受  
注全体で見  
てもコロナ禍  
長雨、猛暑の  
影響で先送り  
された物件が  
10月以降、出  
てきており、  
年度下期はパ  
ネル、プレカ  
ットを合わせ  
た総出荷量で  
前年同期を上  
回ると見  
ている。

同社の強みは2×4  
工法向けのパネル生産  
のほか、3基のプレス  
機で製作するトラスの  
供給にある。住宅市場  
郊外の需要が活発化し  
ており、部屋数を増や  
した大きめの物件が増  
加傾向にあるという。  
スパンを大きく取れ、  
間取りの可変性も自在  
なトラスの需要は増え

トラスの下弦材に直  
接石膏ボードを施工で  
きるため、従来に比べ  
て材料コストと施工手  
間を削減できる。外周  
部だけで垂直荷重を担  
保できれば、柱のない  
大空間も可能。梁や野  
縁が不要な分、天井高  
物を有効と見てい  
る。2×4トラスを組み  
合わせたLID工法  
を低くしたりもでき  
る。平行弦トラスを使  
えば陸屋根などの緩や  
かな勾配でも10%以上  
超えると確認申請時に  
また、斉藤社長は9日

ランバーテック(埼  
玉県蕨市、斉藤一男社  
長)は、2×4工法向  
けの古河工場(茨城県  
古河市)と木造軸組金  
物工法向けの銚田工場  
(同銚田市)を構え  
る。古河工場は月間7  
000坪の加工能力を  
持つ。パネル2ライン  
で月間3700~3800  
坪のパネル供給を  
手掛ける。  
パネルは人手に依存  
する加工が多く、繁閑  
差への対応が課題にな  
る。同社では1万500  
坪の敷地を持つ古河  
工場でもパネルを豊富  
に在庫できるため、出  
荷の日程に左右されず  
に生産を平準化できる  
のが強みだ。精度の高  
いパネルを安定供給で

要。軸組の構造躯体  
2×4トラスを組み  
合わせたLID工法  
ら、箱にふたをする  
うにシンプルに設計  
施工できる」と話す。  
また、斉藤社長は9日  
に建築学会でLID工  
法について発表した。

また、LIDトラスは在来  
の躯体に直接2×4ト  
ラスを乗せることがで  
きるため、通常必要と  
される梁、火打ち、野  
縁を省略でき、施工  
性、コスト面でメリッ  
トが出る。特に非住宅  
(倉庫、店舗、保育園  
など)では、大きな梁  
や柱をわずかに大空間  
を実現でき、鉄骨造に  
比べて優位性が増すこ  
とから、引き合いが増  
えている。